

国際政治

183

新興国台頭と国際秩序の変遷

日本国際政治学会編

新興国台頭と国際秩序の変遷	宮城 大蔵
パワーシフトと国家の人口規模	田所 昌幸
日米の台頭と地域的国際秩序の連鎖	草野 大希
国際組織における「新興文化大国・中国」の浮沈	潘 亮
南北問題と戦後国際経済秩序	高橋 和宏
ブレトンウッズ体制崩壊後の国際通貨制度の再編成	山口 育人
新興国の馴化	大矢根 聡
新興開発パートナーと国際開発レジーム	大平 剛
台頭を目指す中国の対外戦略	青山 瑠妙

<書評>

遠藤乾著 『統合の終焉』	篠原 初枝
末近浩太著 『イスラーム主義と中東の政治』	溝渕 正季
スティーブン・セスタノヴィッチ著 『拡大』	島村 直幸
中山俊宏著 『介入するアメリカ』『アメリカン・イデオロギー』	大津留（北川）智恵子
ドン・マントン、デイヴィッド・ウェルチ著 『キューバ危機』	保城 広至
道下徳成著 『北朝鮮 瀬戸際外交の歴史』	西野 純也

2016年3月刊